

正, 西山秀昌, 阿部達也, 富原 圭: 多数の過剰歯と集合型歯牙腫を同時に認めた一例, 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日. Web.

- 50) 上野山敦士, 児玉泰光, 新垣元基, 新國 農, 林 孝文, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭: 外向性発育を呈した顎骨内海綿状血管腫の 1 例. 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日. Web.
- 51) 今上修一, 池田篤司, 石戸克尚, 立浪秀剛, 櫻井航太郎, 富原 圭, 野口 誠: 口腔扁平上皮癌・切除不能局所進行例の治療戦略. 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2022 年 2 月 17-18 日. Web.
- 52) 永田昌毅: 培養自家骨膜細胞による骨組織再生 — その基礎・臨床効果・社会実装 —, 第 21 回日本再生医療学会総会, 2022 年 3 月 17-19 日. Web.
- 53) 白杵里紗, 清海杏奈, 吉田謙介, 山崎京祐, 荒井智絵, 今井志乃ぶ, 鈴木直人, 外山 聡, 杉浦宗敏: 口腔粘膜炎症性がん患者および健常者の唾液中炎症性メディエーター量と口腔内乾燥に関する検討, 日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25-28 日. Web.

【研究会発表】

- 1) 園辺 悠: 下顎臼歯の歯性感染を原因に発生し側頭筋まで及んだ壊死性筋膜炎の 1 例. 第 87 回新潟口腔外科・麻酔科集談会, 2021 年 10 月 21 日. Web.

【受賞】

- 1) 山田 茜, 永井孝宏, 高木律男: NF- κ B 経路はエナメル質形成に関与する. 第 75 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2021 年 5 月 12-14 日. 抄録集 137 頁, 2021. Rising Scientist 賞

【その他】

- 1) 高木律男: 新型コロナ禍での HIV 感染対策を考える. 新潟県歯科医師会館, 2021 年 2 月 4 日. Web.
- 2) 高木律男: 令和 2 年度東北がんプロ; インテンシブコース講演会. 医療人育成センター, 新潟市, 2021 年 2 月 12 日. Web.
- 3) 高木律男: 北関東甲信越ブロック HIV 感染者の歯科医療情報交換会(HIV 医療情報交換会), 2021 年 10 月 10 日. Web.
- 4) 池田順行: 新潟大学医歯学総合病院における口腔外科疾患の動向. 新潟県診療報酬支払基金学術講演会. 新潟市, 2021 年 10 月 26 日.
- 5) 富原 圭: 『コロナ禍で忘れられていた口腔がんの

怖さ』～予防と早期発見・早期治療～: 令和 3 年度群馬県歯科保健大会「県民公開講座」. 前橋市, 2021 年 11 月 20 日.

- 6) 富原 圭: 『こんな症状も口腔がんです』: 新潟県歯科医師会 口腔がん(口腔粘膜疾患)研修会. 2022 年 3 月. Web.

口腔解剖学分野

【論文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ifit88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis* In Press.
- 2) Yamada Y, Nihara J, Trakanant S, Kudo T, Seo K, Iida I, Izumi K, Kurose M, Shimomura Y, Terunuma M, Maeda T, Ohazama A: Perivascular Hedgehog responsive cells play a critical role in peripheral nerve regeneration via controlling angiogenesis. *Neurosci Res* 24:S0168-0102(21)00144-9, 2021.
- 3) Nihara J, Kawasaki M, Kawasaki K, Yamada A, Meguro F, Kudo T, Trakanant S, Nagai T, Fujita A, Honda I, Saito I, Maeda T, Ohazama A: Expression of R-spondins/Lgrs in development of movable craniofacial organs, *Gene Expr Patterns* 41:119195, 2021
- 4) Kantaputra PN, Dejkhamron P, Intachai W, Ngamphiw C, Ketudat Cairns JR, Kawasaki K, Ohazama A, Olsen B, Tongsima S, Angkurawaranon S: A novel P3H1 mutation is associated with Osteogenesis imperfecta type VIII and dental anomalies. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 28:4564, 2021
- 5) Trakanant S, Nihara J, Nagai T, Kawasaki M, Kawasaki K, Ishida Y, Meguro F, Kudo T, Yamada A, Maeda T, Saito I, Ohazama A: MicroRNAs regulate distal region of mandibular development through Hh signaling. *J Anat* 238:711-719, 2021.
- 6) Kantaputra PN, Dejkhamron P, Intachai W, Ngamphiw C, Kawasaki K, Ohazama A, Krisanaprakornkit S, Tongsima S, Ketudat Cairns JR: Juberger-Hayward syndrome is a cohesinopathy, caused by mutations in ESCO2. *Eur J Orthod* 43:45-50, 2021

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 前田健康, 川崎真依子: 代生歯堤の形成・維持メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費

補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19591, 2021.

- 2) 大峽 淳、川崎真依子: 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2021
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 顎顔面領域におけるシグナル経路のクロストークと一次線毛との関わりについて. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 17K11829, 2021.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳: 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2021.
- 5) 目黒史也: 体づくりの共通メカニズムの解明〜歯と口蓋の類似性・相違性から〜, 日本学術振興会特別研究員 20J10986, 2021.
- 6) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳: 下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2021.
- 7) 山中 淳, 大峽 淳: Shh シグナルによるアクトミオシン細胞内張力を介した歯の形態形成の新たな制御機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 19K10047, 2021.
- 8) 前田健康, 大峽 淳, 川崎真依子、川崎勝盛: DNA 修復機構に着目した顎顔面領域における先天異常発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 19H03849, 2021.
- 9) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎真依子、川崎勝盛: 舌誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 20K10156, 2021.

【著 書】

- 1) 大峽 淳: 第1章 顔面と口腔の発生. 最新 歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第2版 (一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会 監修), 174-183 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.

口腔生理学分野

【著 書】

- 1) 山村健介 消化・吸収、呼吸、腎機能と排尿. 1 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修) 106-108 頁、213-232 頁、234-243 頁、医歯薬出版、東京、2022 年 2 月
- 2) 岡本圭一郎 第5版 ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策① p36-103 医歯薬出版 東京 2022 年 1 月

【論 文】

- 1) Okamoto, K, Kakihara, Y, Ohkura, N, Tohma, A, Washio, A, Kitamura, C, Noiri, Y, Yamamura, K, Saeki, M. Effects of rice fermented extract, "Sake Lees", on the functional activity of odontoblast-like cells (KN-3 cells). Odontology.110(2) 254-263. 2021.
- 2) Okamoto, K, Hasegawa, M, Piriyaprasath, K, Kakihara, Y, Saeki, M, Yamamura, K. Preclinical models of deep craniofacial nociception and temporomandibular disorder pain. JAPANESE DENTAL SCIENCE REVIEW 57: 231-241, 2021.

【科研費獲得】

- 1) 山村健介 介護予防促進のための『むせる』を予測するシステムの開発. 日本学術振興会 基盤研究 B 2018 年 4 月-2022 年 3 月
- 2) 岡本圭一郎 運動療法 がストレス誘発性の顎顔面痛を軽減する脳メカニズム 日本学術振興会 基盤研究 C 2019 年 4 月-2022 年 3 月

【招待講演】

- 1) 岡本圭一郎 顎関節症の痛み研究最前線 一般社団法人日本顎関節学会 第 53 回学術講演会 2022 年 2 月 13 日 (Web 開催)

【学会発表】

- 1) 岡本 圭一郎, 長谷川 真奈, 山村 健介, 柿原 嘉人, 佐伯 万騎男 トレッドミルランニングは心理社会的ストレス条件下での顎筋の痛覚過敏を軽減する. 第 24 回日本歯科医学会学術大会 2021 年 9 月 23~25 日 (Web 開催)
- 2) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介 毎日のガム咀嚼が咀嚼関連機能と咀嚼行動にもたらす影響. 日本咀嚼学会第 32 回学術大会 2021 年 10 月 2~29 日 (Web 開催)
- 3) 高橋 彩, 熊谷美保, 佐藤大祐, 山村健介, 黒瀬雅之 随意嚥下に頼らない多軸触圧センサを応用した嚥下機能評価システムの開発. 日本咀嚼学会第 32 回学術大会 2021 年 10 月 2~29 日 (Web 開催)
- 4) 長谷川 真奈, 山村 健介, 藤井 規孝 トレッドミル走は、社会的敗北ストレスによって増大した上部頸髄におけるミクログリア活性を低下させる 第 63 回 歯科基礎医学会学術大会 2021 年 10 月 9 日~11 日 (Web 開催)
- 5) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介 若年者のガム咀嚼による口腔機能の向上と行動変容の可能性 令和 3 年度新潟歯学会第 2 回例会